

清和 高齢者学級 第7回(1月25日)

「大人の学校」

降水確率 70%の予報。

あなたは傘を持って行きますか？

多くの人が傘を持って行くと思います。

30年以内に関東近郊で大地震が起こる確率は
70~80%とされています。

皆さんは災害に向けて普段から備えをしていますか？

第7回目の大人の学校は防災講演を受講しました。講師は、ボランティアとして各地の災害現場に出向いており、令和元年房総半島台風の際は清和公民館にいち早く駆けつけていただきました。講演会では、現場の生々しい状況を話してくださり、震災の被害にあってしまった方の家族など残された方は、家族を救えなかったとずっと後悔しています。との話に対し、参加者からは自分の身は自分で守る。との決意が聞かれました。



講師 杉並区堀ノ内南町防災会
副会長 山内 康彦 さん

“大地震” そのとき何が起きるのか、 どう備えるか～地域の防災を考えよう～

☆普段から☆

- ご近所どうしの交流
顔が見える関係を作りましょう
- 避難通路にはものを置かない
- 寝室にタンスを置かない
けがの 3~5 割は家具の転倒や落下によるもの
対策は、L型金具などで固定する
- 防災グッズの用意
手足を守りましょう



☆地震発生☆

- 窓や戸を開け出口を確保
- 家の倒壊に巻き込まれたら
道路の寸断で消防車の救助が来られないときは、
安全を確保のうえで、隣近所での助け合いで救助
しましょう。災害初日の救助後の生存率は8割。
- 意識がない
あきらめずに心臓マッサージを行ってください



☆避難所では☆

- 避難所は利用者が主体的に運営
お互い気持ちよく過ごせるよう、掃除
など積極的に協力しましょう
- トイレはいつも清潔に
災害時は水が流せません。トイレが不衛生
になると感染症や害虫発生の原因になりま
す。トイレを我慢することでストレスや体
調不良になることもあります

最近、千葉県でも地震がたびたび発生しています。
後悔しないよう早めの備えを行いましょ

